

**EDOGAWA  
JINSEI DAIGAKU  
DOUSOUKAI**

# 同窓会だより

江戸川総合人生大学同窓会  
平成 28 年 9 月 30 日発行 第 27 号  
<http://www.jinseidaigaku-dousoukai.net/>

## 大人の社会見学会



1号車集合写真



2号車集合写真

9月13日(火)は残念ながら雨。87名の参加者が2台の観光バスに分乗して、銚子に向け高速道路に入りました。どんよりした雲の下、田んぼはほぼ刈り入れが終わり深緑の木々がずっと連なり歓迎してくれました。

最初の見学地は創業1645年のヤマサ醤油工場です。製造過程の体験学習ができる施設では、3日間ねかせた麹に食塩を加え「もろみ」になって初めにしぼられた醤油が赤色だったのは驚きでした。銚子電鉄は私たちのバスツアーのために通常は1両のところを2両に増やして運転しましたがなお満席でした。犬吠埼灯台の目の前のレストランで食事。その途中「灯台見えた?」「外は雨でビショビショ、バスの中はびしょびしょ(美女)で見落としたかー」と笑いを誘う場面がありました。海鮮丼に舌鼓を打ち、ままたまらない天気なので集合写真はお預け。ぬれせんべい屋と海産物屋に寄って佐原へ。やっと雨が上がり、駐車場で集合写真を撮りました。日本地図の測量で有名な伊能忠敬の生誕地。その伊能家から酒つくりを伝授された東薫酒造は創業1825年。毎年日本一に輝く大吟醸を造りだしています。最後に街並みを散策できました。年代物の建物の保存に香取市からも援助が出ているそうです。小野川にかかる樋橋(通称ジャージャー橋)から落ちる灌漑水も見学できました。

かなりお土産を買いこんで、「こんなに買うつもりなかったのに」なんて声が聞こえました。悪天候でも予定がこなせ、元気で帰路に付きました。お疲れ様でした。



銚子電鉄



佐原 ジャージャー橋



ヤマサ工場

# 第11回江戸川総合人生大学祭

「学ぼう・人の和・地域の和～生かそう あなたのできること～」



学科長は語る



合唱（フリーズ）

7月23日（土）タワーホール船堀において大学祭が開催されました。当日は1,000名を超える来場者があり、おおいに賑わいました。1階展示ホールのステージでは出尾実行委員長、前田同窓会会長の挨拶の後、11期・12期生による学びを生かした楽しい内容が、また同窓会からは、えどがわインドダンサーズのダンス、チームレインボーの南京玉すだれ、フリーズの合唱が披露され、来場者の心を打ちました。また、「学長を囲んで」「多田区長挨拶」「学科長は語る」などの時間もあり、充実したものとなりました。



インド Bollywood ダンス



南京玉すだれ

3階産業振興センターの同窓会コーナー「おやすみ処 よってこ」にもたくさんの来場者がありました。例年のように無料喫茶コーナー・体験コーナーが設けられ、ステージでは「琴と尺八による演奏」「二胡演奏」「歌声ハーモニカ」「日本舞踊」などが披露され、最後は大きな盛り上がりの中、盆踊りでフィナーレとなりました。人大ボラ連、ボランティア団体や同窓会クラブ活動の掲示物を興味深げに眺める姿、時間ぎりぎりまでスタンプラリーにかけこんでくる姿も多く見られました。



体験コーナー



歌声ハーモニカ



琴と尺八の演奏



二胡の演奏



盆踊り

## 文化講演会

7月2日（土）、江戸川区総合文化センター3階研修室に於いて同窓会主催の文化講演会が行われました。今回は二部形式で、一部が「異常気象による水・食糧問題を学ぶ」、二部が「江戸川区の防災について」でした。

一部の講師は元NHK気象キャスターの村山貢司氏。村山氏は近年の異常気象が食料や水にどのような影響を与えているかを、様々なデータを駆使し、わかりやすく説明されていました。52年前の東京での記録的な渇水から始まり、温暖化による異常気象、局地的な豪雨のばらつきと集中性、2007年の江戸川区で起きた竜巻などに触れ、近年の状況は氏の「40年以上の気象予報士としての経験が役に立たない」とも述べられました。

話はさらに2100年の気象や生態系の予測について展開しました。秋の気温上昇が大きい、3度の気温上昇は300km南下した気候になることを意味する、冬日は減少、雪は大幅に減少、雨日数は減少するが豪雨は増加する、“日照りに不作はない”は過去の話で、暑さに強い品種の開発が行われている、世界中の異常気象が食品価格に影響している、海水温の変化による魚の変化、植物の衰退による生態系の大きな変化など……。より深刻化する状況の中で、効率的なエネルギーの活用、日本の農産物を食べることに、木を増やす（できれば実のなる木）、菜園の推奨など、私たちにもできることから進めてほしいとのことでした。

二部の講師は、江戸川区防災危機管理課課長 高橋博幸氏。災害に備えよう、避難行動の仕方、江戸川区の取り組みの三つの柱で話されました。豪雨災害や直下型地震など、いつ災害が起きても不思議ではない状況の中で、情報の集め方、避難の仕方、井戸の設置、電気ブレーカーを落とすなど江戸川区の実態に沿った具体的なお話でした。また、「江東5区大規模水害対策協議会」の進行状況についても触れられました。



最後には「防災は一人ひとりが主役です！」「『自助、公助、共助』が大事なことはもちろんですが、皆さんには支える側になってほしい」と力説されていました。身近でかつ深刻なテーマだったので、会場いっぱいの参加者がうなずきながら熱心に聞き入っていました。講師が帰られるおり、「いい話をありがとうございました」とお礼する参加者の声も聞かれました。



## 第4回 在校生と人大ボラ連の集い

9月14日(水)篠崎文化プラザにおいて江戸川総合人生大学同窓会ボランティア連絡会主催の「在校生と人大ボラ連の集い(第4弾)」が開催されました。このイベントは当初8月22日(月)に予定されていましたが、大型で勢力の強い台風9号の接近により急遽中止、振替となったものです。



江戸川総合人生大学第11期生1名、第12期生64名、ボランティアグループ30組42名、事務局、クラス幹事、人大ボラ連世話人会を加え、合計120名に近い参加がありました。主催者側の人大ボラ連世話人会から「人と人、人とグループ、グループとグループを繋ぐ場です。グループ立ち上げのノウハウも学んでいただけたらとの思いでこの集いを開催しています。」との開会の辞でスタートしました。

前半は、出席のボランティアグループが自ら主な活動を2分間でアピール。出席できなかったグループは世話人が説明して、人大ボラ連登録の45グループを紹介しました。後半は、まち・地域づくり関係、外国の方々を対象とした関係、子どもたちを支援する関係、介護・福祉関係の4つのジャンルに分かれ、より詳しい説明と質疑応答が行われました。予定時間になってもなかなか終了できないほど、真剣な個別相談会に発展しました。



このイベントに対する在校生の皆さんの関心が非常に高く、それを真摯に受け止めてくださったボランティアグループの方々によってこの集いが定着してきたことを実感することができました。これもひとえに事務局の在校生に対するフォローとご協力によるものと感謝いたします。スタッフの皆さま、お手伝いいただいたクラス幹事の皆さま、大変お疲れ様でした。

江戸川総合人生大学ボランティア連絡会世話人会 [jindaiboraren@yahoo.co.jp](mailto:jindaiboraren@yahoo.co.jp)

### 《お知らせ》

★平成28年9月6日(火)タワーホール船堀において江戸川総合人生大学第11期生70名が卒業されました。第13期生の入学者数は96名の予定です。

★江戸川総合人生大学同窓会総会 10月25日(火)江戸川区総合文化センター・研修室

### 第9期広報部会

飯田和江(介7)、伊藤武(介6)、叶内元也(介9)、衣川章嗣(まち9)、  
國崎康夫(子9)、佐々木康次郎(介10)、野口忠利(国3)、古久保和美(国8)

「同窓会だより」は皆さんの会費で作っています。